

堺戦災・戦争関係資料(刊行物)目録(抄)

(発行年次等順不同)

- 『堺市史第二巻・第三巻』 昭和5年 堺市役所
- 『堺市史続編・第二巻・第三巻』 昭和46年 堺市役所
- 『堺市制施行七十年誌』 昭和33年 堺市役所
- 『復興のあゆみ — 堺市戦災復興写真集』 昭和40年 堺市建設局都市計画部
- 『復興区画整理誌』 昭和41年 堺市都市計画部区画整理課
- 『大阪空襲に関する警察庁資料(松原市史資料集第6号・第7号)』 昭和51・52年 松原市史編纂室
- 『大阪空襲に関するアメリカ軍資料 — アメリカ第21爆撃機軍団戦術作戦任務報告』 昭和60年 小山仁示監修 大阪府平和祈念戦争資料室
- 『朝日新聞 昭和20年7月11日』
- 『毎日新聞 昭和20年7月11日』
- 『朝日新聞・大阪新聞・産業経済新聞・毎日新聞・同盟通信社 昭和20年7月10日付 共同特報』
- 『堺市会会議録 自昭和15年第1号至昭和18年第11号』 堺市会事務局
- 『写真で見る堺(明治百年のあゆみ)』 昭和49年 渡辺庫治編
- 『写真集 明治大正昭和堺』 昭和55年 渡辺庫治・小谷方明編 国書刊行会
- 『日本都市戦災地図』 1983年 第一復員省編 原書房
- 『全国戦災史実調査報告書』 昭和54年 内閣総理大臣官房管理室
- 『戦災復興誌 第七巻 都市編Ⅳ』 昭和34年 建設省編 (財)都市計画協会
- 『大阪空襲(大阪が壊滅した日)』 1985年 小山仁示著 東方出版
- 『共同編集 戦争を発掘する』 1985年 日本機関紙出版センター
- 『画集 母から子どもたちへ—大阪大空襲の記録』 昭和58年 三省堂
- 『TARGET TOKYO 日本大空襲』 昭和54年 月刊沖繩社
- 『一億人の昭和史 4空襲・敗戦・引揚』 1975年 毎日新聞社
- 『日本空襲・記録写真集』 昭和46年 毎日新聞社
- 『日本の空襲六 近畿』 1980年 日本の空襲編集委員会 三省堂
- 『復興期における衛星都市堺の変貌』 昭和40年 位野木寿一著
- 『炎の慟哭(戦争体験記録女の叫び)』 昭和55年 堺市婦人団体連絡協議会
- 『炎の生き地獄・堺空襲の記録』 昭和52年 創価学会青年部反戦出版委員会 第三文明社
- 『平和への礎(関西高校生120人の聞き書き)』 昭和51年 創価学会青年部反戦出版委員会 第三文明社
- 『銃後の婦人』 昭和50年 創価学会青年部反戦出版委員会 第三文明社
- 『おかあちゃんごめんね』 1981年 早乙女勝元著 草土出版
- 『堺の空襲—炎の街からの証言』 1985年 自由と自治・進歩と革新をめざす堺市民懇話会
- 『わたしたちは忘れない 第1集、第2集、第3集』 1975年、1985年 堺市教職員組合
- 『私の戦争体験記 第1、2、3、4集』 昭和54、55、56、57年 いづみ健老大学
- 『英霊を仰いで』 昭和50年 堺市毛穴町英霊顕彰録編集委員会
- 『空しく』 昭和59年 野村城右編 堺広長会
- 『私の戦争体験 第1集~第8集』 1979~1986年 大阪いずみ市民生活協同組合
- 『十五年戦争の証言』 1985年 桃山学院大学教員有志
- 『大阪府立大学教員が綴る私の戦争体験』 1985年
- 『私達は語り伝えたい—市民の戦争体験記録』 昭和61年 堺市
- 『はらぺこ物語』『大阪大空襲の夜』『ほしがりません勝つまでは』 昭和60年 竹村健一著
- 『いま子供が考えていること』 昭和57年 堺市教育委員会青少年教育課
- 『ぼくらは義務を果たした(大阪府学徒動員の記録)』 昭和50年 白川書院

- 『中世自由都市および与謝野晶子関係』
- 『堺—商人の進出と都市の自由』 昭和41年 豊田 武著 至文堂
- 『堺と博多—戦国の豪商』 昭和51年 泉澄一著 創元社
- 『堺—中世自由都市』 1981年 泉澄一著 教育社
- 『フロイス日本史 1~8巻』 昭和50年 中央公論社
- 『堺と与謝野晶子』 昭和36年 堺市教育委員会指導部 社会教育課
- 『堺が生んだ稀有な歌人と謝野晶子』 昭和57年 阪口千寿著
- 『堺市文化財調査報告 15集、20集』 堺市教育委員会

※発行年号は資料の表示を尊重しました。なお、リストアップできていない資料がありましたらご教示ください。

資料集づくりの協力呼びかけを報じていただいた各新聞、地域紙の記事

「悲惨な体験 後世に」と堺市が発行計画

戦争体験や空襲の記録など、市民の貴重な体験や記憶を後世に伝えるため、堺市が「戦争体験や空襲の記録」を発行する計画を立てている。市民の協力呼びかけを報じていただいた各新聞、地域紙の記事を参考に、市民の貴重な体験や記憶を後世に伝えるため、堺市が「戦争体験や空襲の記録」を発行する計画を立てている。

市民に空襲などの写真や遺品など、協力呼びかけ

戦争体験や空襲の記録など、市民の貴重な体験や記憶を後世に伝えるため、堺市が「戦争体験や空襲の記録」を発行する計画を立てている。市民の協力呼びかけを報じていただいた各新聞、地域紙の記事を参考に、市民の貴重な体験や記憶を後世に伝えるため、堺市が「戦争体験や空襲の記録」を発行する計画を立てている。

戦争写真など提供を「堺市が資料集発行を計画」

戦争体験や空襲の記録など、市民の貴重な体験や記憶を後世に伝えるため、堺市が「戦争体験や空襲の記録」を発行する計画を立てている。市民の協力呼びかけを報じていただいた各新聞、地域紙の記事を参考に、市民の貴重な体験や記憶を後世に伝えるため、堺市が「戦争体験や空襲の記録」を発行する計画を立てている。

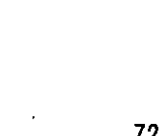
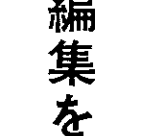
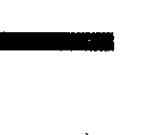
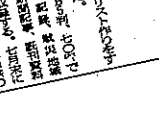
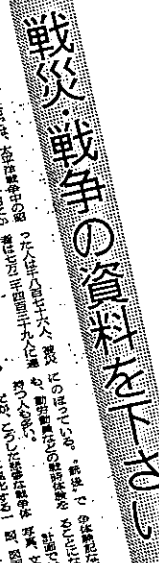
平和年記念し集大成

戦争体験や空襲の記録など、市民の貴重な体験や記憶を後世に伝えるため、堺市が「戦争体験や空襲の記録」を発行する計画を立てている。市民の協力呼びかけを報じていただいた各新聞、地域紙の記事を参考に、市民の貴重な体験や記憶を後世に伝えるため、堺市が「戦争体験や空襲の記録」を発行する計画を立てている。

写真・被災地図：収録

戦争体験や空襲の記録など、市民の貴重な体験や記憶を後世に伝えるため、堺市が「戦争体験や空襲の記録」を発行する計画を立てている。市民の協力呼びかけを報じていただいた各新聞、地域紙の記事を参考に、市民の貴重な体験や記憶を後世に伝えるため、堺市が「戦争体験や空襲の記録」を発行する計画を立てている。

戦争体験や空襲の記録など、市民の貴重な体験や記憶を後世に伝えるため、堺市が「戦争体験や空襲の記録」を発行する計画を立てている。市民の協力呼びかけを報じていただいた各新聞、地域紙の記事を参考に、市民の貴重な体験や記憶を後世に伝えるため、堺市が「戦争体験や空襲の記録」を発行する計画を立てている。



編集を終えて

ご協力ありがとうございました

国際平和年を記念した堺戦災関係資料集の発行のため、資料や情報提供を呼びかけたのは、今年4月末のことです。同時に編集作業に入り、今年8月には刊行したいという考えから短期間の資料収集となりました。このため、完全な資料収集をし切れなかったという不安が残っています。しかし、多くの方々や団体・グループをはじめ、報道機関、府および市の施設や市内組織など幅広い範囲のご協力によって一応のまとめでできたと思います。新聞や広報紙等の呼びかけに応じて十数人の方から遺品関係や戦意高揚の数々のポスター類などを保存しているとの情報提供もいただきました。これらの分は今回の資料集には十分収録できませんでしたが、将来ぜひ生かしていきたいと考えています。ご協力いただいたみなさんに心からお礼申し上げます。

この資料集を通じて、戦争がいかに無残にも多くの人々の生命を奪い、また、人間としての生き方をも踏みにじり、悲惨極まりないものであったことが、戦争を直接体験したことのない若い人たちにも理解していただけるのではないかと期待しています。

同時に、中世、ヨーロッパから来た宣教師たちによって伝えられたように、当時の堺の町衆たちがいかに平和なまちを築こうとしたか、編集を通じて伝わってきました。堺が生んだ与謝野晶子さんの歌は、生き生きとして今日もよむ人の心を熱くします。

七月九日、実は、堺大空襲は翌日の十日未明なのですが、堺の人たちにとって九日の夜という意識が強いわけです。この日には、地域の人たちが関係者によって「戦災川供養」が毎年内川のほとりで行われ、有志の人たちによる「戦災無縁地蔵講」が毎月開かれています。また、戦地でなくなられたり、戦病死された方々の遺族会による行事も定期的に開催され、尊い犠牲が決して無にならない願いが心から込められています。

市では、戦争でなくなられた方々を悼み、昭和四十六年に大仙公園内に平和塔を建て、平和なまちづくりへのシンボルとしています。また、昭和五十八年の市議会における「非核平和都市宣言」をうけて、啓発塔の設置や、夏期に堺市人権教育推進協議会と共催で「平和と人権展」の開催などを行っているところであります。

昨年の終戦四十周年には、市が、戦争体験記を募集し、世界人権宣言促進連絡会が市民集会を催したほか、地域の人々などによって、堅川の北岸に「戦災記念碑」が設置され、道行く人たちの目にとまっています。最近では、市民組織による創作劇「炎の街から」の公演活動や女性団体連絡協議会による「反戦・平和フォーラム」も好評であったと聞いています。このほか、さまざまな形で平和や非核の世界への願いを込めた多くのみなさんの諸活動があります。

このように堺の人々は平和への強い希求を歴史的にも脈々と受け継いできているといえます。

この資料集によって平和への強い願いが、さらに多くのみなさんの心に広がることを期待しますとともに、今年一月十五日成人式が行われた市民会館前庭での平和セレモニーにおける「非核平和都市宣言の精神を生かして平和で明るい町づくりを進めます」との宣言を明記しておきたいと思えます。

(企画調整課)



啓発塔(市役所前)このほか、現在、光明池駅前、梅文化会館前、百舌鳥八幡駅前にも設置している。